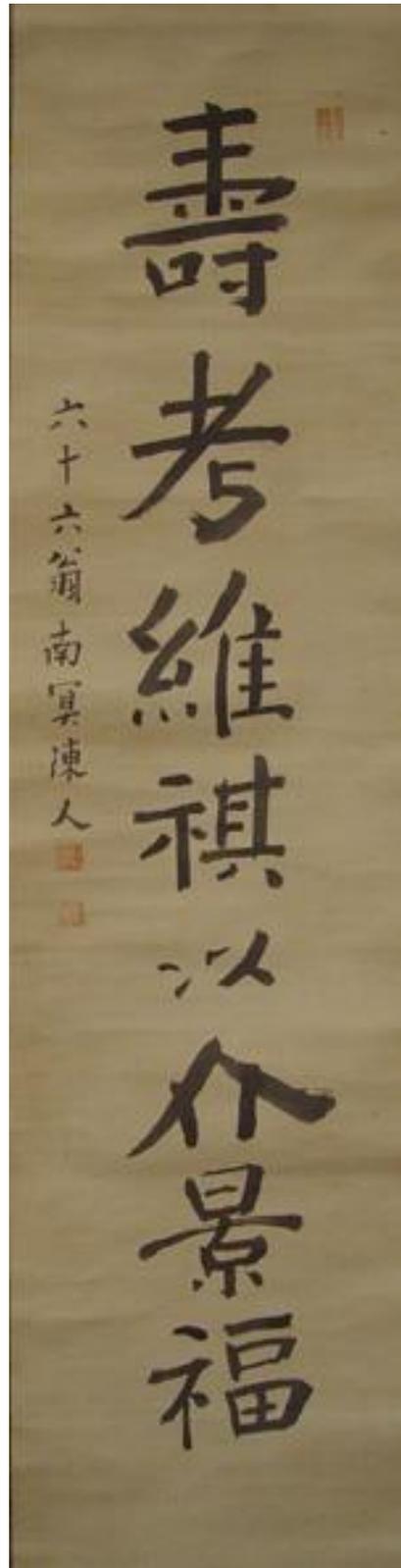


書

亀井南溟

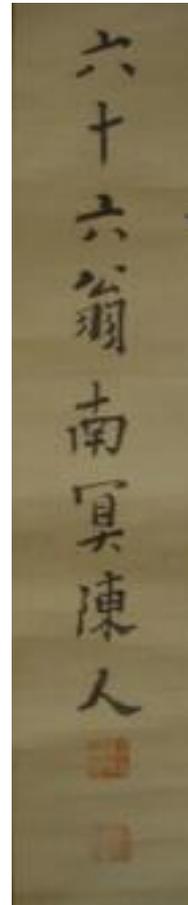


制作年：江戸後期

サイズ：36.2×5.8cm

材質：紙本墨書

所蔵：中津市木村記念美術館



本文：「壽考維祺以介景福」

画面右上：「□□□□」（白文方印）

画面左：墨書「六十六翁南溟陳人」

「亀井南溟」「□□」（白文方印）

箱書：表「亀井道戴先生楷書八字一行」

裏「亀井南溟 福岡儒者也、昭陽の父ニシテ崇福寺幻庵和尚の兄也 昭和五十八年二月 淡水」

1996(平成8)年に中津市に寄贈

亀井南溟（かめいなんめい、寛保3(1743)～文化11(1814)）は江戸後期の儒学者・医者です。筑前に生まれ、名は魯、通称主水、字は道載、南溟・信天翁・狂念居士など号しました。僧大潮、永富独嘯庵らに学び、福岡藩校の教授に登用され、詩才は西海一とされました。著書に「論語語由」などがあります